

4月から大町病院の体制を強化 事業管理者に山田先生、 新病院長に井上先生内示される

新年度4月1日より、大町病院新院長に井上善博副院長が就任することが決まりました。2011年10月から山田博美事業管理者が院長を兼務していましたが、4月から専任の院長を置いて体制を強化することになりました。後任の副院長には高木哲診療部長が就任します。山田院長はこれまでの兼任業務から事業管理者として、経営面に専念することとなります。



山田事業管理者



井上新院長



高木新副院長

井上先生は「病院の総力を上げて取り組んだ結果2011年度は黒字決算となり、経営面では一定の成果を挙げているが、医師はじめ人材の充実が課題だ。医学生・研修医育成に力を入れたい」と抱負を語りました。また、がんや地域包括医療などニーズに合わせた医療体制を整備し、早急に進めたいと意欲を示しました。井上先生は兵庫県姫路市出身。(57歳) 信州大学医学部卒。高木先生は、上田市出身。(45歳) 信州大学医学部卒。守る会にも積極的に顔を出してアドバイスをいただき、ジビエによる懇談会の提唱などかわりが深い。皆さんのご活躍を期待します。みんなで応援しましょう。

平成23年度 病院機能評価審査結果報告書だされる 守る会「おほめをいただく」(公益財団法人日本医療機能評価機構)

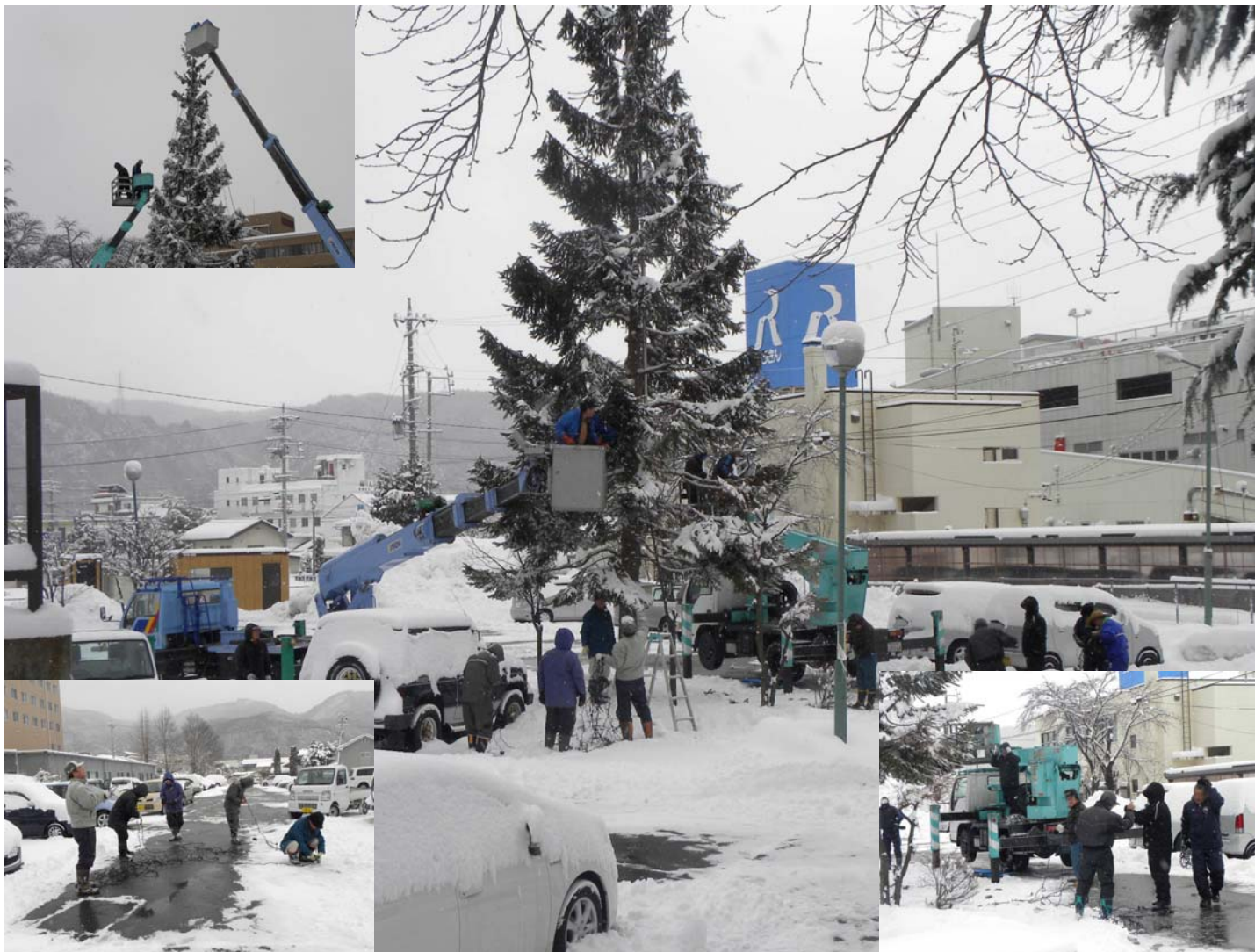
市立大町総合病院の平成23年度病院機能評価が出されました。この評価で大町病院を守る会の存在が数箇所でも触れられ大きく評価されました。その報告の一部を掲載します。【平成23年度病院機能評価 総括】

「80余年の歴史ある貴院は、地域密着型の病院として開設されたケアミックス型の一般病院である。以来、時代の変化に適切に対応して医療機能を充実しつつ発展されている。医師はじめとする各職種の人材確保に苦慮している状況ではあるが『安全・安心の医療』をモットーに院長以下全職員が総力を結集して、質の高いチーム医療に努力されている。また、極めて積極的な地域の健康増進活動や地域住民が主体の『大町病院を守る会』の活動は、心温まるサービスの提供に大いに貢献しており特筆すべきことと高く評価する。このたびの病院機能評価の認定審査が、今後の貴院の医療機能の質向上に役立てられ貴院が『地域から期待される病院』としてますます発展されることを、心から祈念する。」

院長を先頭に全職員が総力を上げて取り組んでいる姿と、守る会のお手伝いが評価をいただいた。今後も守る会はみんなでできることを積み上げ、当面する対応と、数年先を見つめながらの取り組みを織り交ぜながら医師はじめスタッフの確保、病院の環境整備、ありがとうメッセージによるコミュニケーションなどできる力を発揮して、がんばりましょう。

イルミネーションをありがとう

電飾かたづけに十日会・守る会が力を合わせ



2月24日午前9時～10時まで、今季一番の寒気が入り込む降雪の中、大町病院前の駐車場にあるモミの木に飾られていたイルミネーションの取り外し作業が行われました。

これは守る会が、市民・患者・職員に癒しをプレゼントすべく、十日会（西山福重会長）の皆さんの多大な作業協力を得て、2月10日以来設置し、每晚5時から病院消灯時刻の9時まで点燈されていたものです。

この日の作業は十日会の皆さんが高所作業車2台を操作して樹から取り外し、守る会役員・会員が取り外したイルミネーションライトを箱に収納しました。総勢16名が参加しての作業は寒い中でしたが熱気がこもったものになりました。

イルミネーションは点灯式から76日間にわたり輝き、多くの人々に癒しを与え続けてくれました。

入院患者や帰宅する職員から「入院していて夜、外に綺麗に輝いているイルミネーションをみるのが楽しみでした。」「疲れを忘れられ、元気をもらった。」「来シーズンもまた電飾をしてほしい。」など感謝の言葉が寄せられました。

寒い中で作業いただいた十日会と守る会会員の皆さん本当にありがとうございました。お疲れさまでした。

地域研修医の北條真代先生歓迎会盛大に

1月25日中山高原の農園カフェ「ラビット」(児玉伸子シェフ)において北條真代先生を囲んで懇談会が大町病院を守る会主催で開かれました。大町病院を18時に出発し、現地に18時15分ころ到着、夏場はラビット近くまで車で入れますが、今回は雪があり入れないので、駐車場からは種山事務局長の運転で雪上車に乗り「ラビット」まで行きました。ラビットは冬季間営業を休業でしたが、大町病院恒例の「ジビエ料理を囲んでの医師との懇談会」ですので特別にオープンしてもらいました。

出席者は新しく4月から大町病院長になられる井上先生、秋田先生、窪田先生、宮脇事務長他と美麻診療所の牧先生夫妻、いつもお世話になっている美麻ジビエ振興会から江津(富)氏、市議会議員の堀議員・種山事務局長・会員の酒井(孝)氏など合計16名の参加でした。はじめに新病院長になられる井上先生より「4月より新しい体制になります。ご協力をお願いします。」とごあいさつがありました。

堀議員の乾杯で懇親会が始まり、シェフ手作りの料理、鹿コロケ、雪中キャベツのコールスローなど18種類の料理を食べ特製のワインカクテル「サングリア」やビールを飲んで和やかで楽しい懇談会になりました。



なお、北條先生は信州大学病院より派遣され、1月15日より2月1日まで大町病院で診療に当たられました。北條真代先生、機会がありましたら大町病院へぜひ赴任してください。守る会挙げて心よりお待ちしております!!

地域懇談会は3月13日(水)・19日(火)19時～

病院を守る会の地域懇談会が3月13日と19日、午後7時から市内二箇所で開催されます。

会場は13日、九日町商工会議所隣り多目的ホール、19日、市役所東庁舎2階大会議室です。

当日は病院から「地域医療の現状と大町病院が目指す方向」のお話、守る会からはパワーポイントによる画像活動報告と今後の取り組みについて懇談を深めます。病院や守る会に対する質問や意見、提案などお待ちしております。会員の皆さん友人知人家族などお誘いのうえご参加ください。

第4回守る会総会は5月11日(土)19時から開催

市立大町総合病院を守る会は、平成25年度の第4回総会を5月11日(土)夕方19時から市役所東庁舎2階会議室において開催します。会員の皆さんは参加をお願いします。

今回は仕事等で忙しい昼間をさけ、夕方から開催することとなりました。大町病院は22年度会計は黒字となったものの、医師不足、看護師不足などによる病院の危機はまだ続いています。

生活と命のインフラである病院を守るために私たちは何ができるかみんなで話し合しましょう。議題は平成23年度事業報告、決算報告、平成24年度事業計画、予算案、役員などです。

会費の受付もいたします。改めてお知らせしますが、欠席される方は委任状の提出をお願いします。

病院祭は5月19日（日）に

大町病院の第3回病院祭は5月19日（日）開催されます。

実行委員会が3月7日開催され、前夜祭の開催などが協議され、まります。

また今年も病院祭ボランティアのお願いをいたします。（19日8時～15時）

① 駐車場係 ② 会場案内係 ③ 売店手伝い ④ 会場受付係 ⑤ 子供コーナー・読み聴かせ係り
⑥ 布切り指導とカッティング係 ⑦ 会員募集係などです。協力いただける方、問い合わせは事務局
長種山 090-3093-2032 または高橋 090-4054-2747 までご連絡ください。

これに先立ちプランターへの花植えも予定しております。日時が決まりましたらお知らせします。
ご協力をお願いします。

きらりかがやく協働のまちづくり発表会への参加について

【お詫びと訂正】

市の制度助成金を受けている団体の発表・交流会が行われます。「守る会」も今年 of 取組状況を報告し評価を受けます。「お知せ」の日時に誤りがありました。お詫びし訂正します。多くの皆さんの参加をお願いします。

(1) 日 時 **3月16日(土) 13時～**

(守る会発表予定時刻 15時)

(2) 場 所 サン・アルプス二階 大会議室



↑きらりかがやく事業 守る会への中間調査 2012.夏

皆で考えようTPP

TPP参加は医療を守れるか・・・医師会等も反対

問題は農業だけでなく、国民健康保険など医療制度と病院経営だ

安倍総理大臣は2月22日、アメリカのオバマ大統領と会談し、「関税撤廃に例外」を確認したことを持ってTPPに参加する意向を表明しました。しかしTPPの問題は関税だけではなく、むしろ社会・経済制度全体をアメリカ流システムに変えることを目的としています。問題は保険、共済や国民皆保険制度などの医療を市場競争に移行、米国の企業活動の障害となるような制度や自治体の地域振興政策による地元企業優先や野菜の地産地消政策は公正競争を阻害するものとしてISD条項で提訴し、損害賠償請求と制度廃止ができる点にあります。利潤追求のアメリカの企業活動に有利な制度であり農業はもとより、地域医療にとっても大変な問題を内包しています。JA（農協中央会）はじめ多くの団体が反対していますが、日本医師会、歯科医師会、薬剤師会も11月2日反対声明を出しています。また都道府県議会の44、市町村の1425（約9割）が反対または慎重の決議をしています。改選前の国会議員365名が反対署名をしていました。官僚は国会議員の質問にもまともに答えていません。政府・自民党には国民との約束を守ることを切に望みます。

2月15日、長野市J A長野県ビル「アクティールホール」で反対する県内34団体が共催で元外務省国際情報局長 孫崎享氏、東大教授 鈴木宣弘氏を講師に学習会が開かれました。講演を元に医療中心に要旨を報告しこの問題が医療と深くかかわっていることを報告します。皆さんで考えましょう。

医療への影響

- ・ I S D条項により米国の保険会社が日本の国民健康保険制度が参入障壁だといって提訴すれば損害賠償と制度撤廃に追い込めます。これにより混合診療の拡大と国民皆保険制度の崩壊をもたらします。
- ・ 日本の薬価決定に米国の製薬会社が入り、薬の特許も強化されて安価な薬の普及ができなくなり、国民健康保険の財源が圧迫され、崩されていきます。すでに永年米国は日本の医療制度を攻撃し崩してきており、この流れにとどめを刺すのがT P Pです。株式会社の参入は儲からない診療から撤退します。
- ・ 地方自治体の独自の地元振興策で、例えば「学校給食に地元の旬な食材を使いましょう」という奨励策も競争を歪めるものとされます。
- ・ 最近加盟したメキシコやカナダについて「一度合意されたT P Pの内容については変更を求めることはできないし、今後決められる協定の内容についても口は挟ませない」約束をさせられています。・・・交渉の余地はないものとなっています。

国民生活はきびしい環境に

- ・ P4 協定で一部の公共事業の国際入札に英文で公示する金額が30分の1に引き下げられることが明記され、地元の小学校を作るのに地元の業者が落札すると思っただけに入札にかけたら突然米国の業者が入ってきて落札され、雇用も奪われることも起きることを隠し続けています。
- ・ 韓国はだまされた経験から日本に対し警告を発しているが、日本政府は国民に知らせていません。
- ・ これにより一番もうけるのはアメリカの金融、保険会社と医療業界、薬剤メーカーといわれています。

(文責：高橋博久)

◆日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会は、11月2日に合同記者会見を開き、環太平洋経済連携協定(TPP)の交渉参加に向けて見解を発表。日本医師会会長の原中勝征氏は「国民皆保険を守ることを表明し、国民の医療の安全と安心を約束しない限り、TPP交渉への参加は認められない」と述べた。

http://www.nikkeibp.co.jp/article/news/20111104/289490/?top_f2&rt=nocnt

◆日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会の3団体は2日、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の交渉参加について「国民皆保険が維持されないならば参加は認められない」として、公的医療保険にはTPPのルールを適用しないよう政府に求める共同声明を発表した。

◆日医の原中勝征会長は記者会見で「(公定価格で)同じ内容の医療サービスを受けられる国民皆保険は、なくてはならないシステム。TPPで風穴をあけられ、将来崩壊してはまずい」と強調。

「政府は『安心、安全な医療が損なわれないよう対応する』と言うが、抽象論にすぎない」と懸念を示した。

◆保険適用の診療と適用外の自由診療を併用する「混合診療」の全面解禁や、株式会社の医療参入についても、認めないよう要望した。

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/111102/plc11110217480013-n1.htm> 日本医師会は8月30日に開かれた自民党議連の「TPP参加の即時撤回を求める会」で「日本のTPP参加について全面的に反対する」と改めて表明した。◆日本政府は米国は公的医療保険制度を廃止するような要求はしていないと説明している。しかし、TPP交渉では、金融サービス分野で民間保険の参入、投資分野で株式会社の参入、知的財産分野で薬価や医療技術などの規制緩和が対象にならない確証はなく、公的保険制度が対象になっていないとしても「個別分野の規制改革が蟻の一穴になるおそれがある」として「日本のTPP参加について全面的に反対する」と強調した。さらにTPPは多国間交渉であり米国の要求がそのまま通るわけでないとの見方もあるが、日本医師会は交渉参加国や米国の識者からもその見方は楽観的、との指摘があるとして、米国が日本に対してこれまで医療分野への株式会社参入を求めるなど市場原理導入要求をし続けていることをふまえると、「TPPで門戸を広げてはならない」と判断したという。会合には日本歯科医師会、日本薬剤師会の代表も参加し同様の見解を表明、日本歯科医師会の宮村一弘副会長は「(TPP参加による影響は)杞憂ではなくリアルな危惧。人の命、人と人とのつながりなど日本が壊れるということ。農業に問題があるといった以前に日本を守らなければいけない。断固反対だ」と述べた。

大町病院で人間ドックをうけて (報告)

H・T

2月7日～8日にかけて1泊2日の人間ドックをうけた。昨年榊原先生と約束した「体重を落とすこと」に腐心した。まず体幹を中心に筋肉を鍛え、簡単に腕立伏、腹筋、スクワットと階段1段抜き昇降を課した。宴会つづきではあったが昨年より体重が2Kgほど減量、体調は至極よい状況であった。



検査データはコレステロールなど全般的に数値はよくなっていたが中性脂肪は落ちていない。検査結果の数値と聴き取りでN看護師が丁寧に原因を探り当てていく。主因は果物の取りすぎあたりと判明、自分も納得。大豆製品も多すぎる。豆乳、きな粉、豆腐、納豆は取りすぎだ。健診結果は昨年とほぼ同じで要経過観察項目がいくつかある。食事の摂取カロリーの削減(飯は1碗163g)と運動で対応することとする。それにしても付き添ってくれた担当の看護師さんは細かなところにも気配りをされて、受診者はスムーズに検査を受けることができた。待ち時間もテレビや雑誌を見ながら、日ごろの忙しさを忘れゆっくりと過ごせた。さてお目当ては宿泊先のホテルの夕食だ。去年は洋食「りんどう」だったので今回は別途料金1500円を払い和食の「吉兆くろよん店」に決めた。ゆっくり温泉で温まり、18時正確に食膳に向かう。献立の品書きには、向付：胡麻豆腐揚げだし お椀：かに真丈 若布 お造り：鯛生寿し 甘海老 八寸：・・・・・・ご飯：かに雑炊 果物：オレンジと苺のゼリーと盛りだくさんの料理を地酒の辛口をちびちびとやりながら味わった。お造りに使われた志野鉢は釉薬も厚くぼつりとした趣のある器だった。八寸は光悦風の紅梅老木図の方寸皿に盛り合わせ、一寸豆はだし汁と塩、砂糖で煮て美味。窓外はつららが垂れ下がり、北風に乱れ舞う小雪が照明に照らされて白い軌跡を描く。「冬雪さえて冷しかりけり」の通り。酒でなく茶であれば立礼茶席のようであった。さて、食べること続きで恐縮だが、ドックの昼食もいつも通りの美味さとボリュームと品そろえで、県下一の病院食といわれることだけあって美味しかった。初日は鱈の照り焼きをメインに、二日目は松花堂弁当で、牛の焼肉をメインに盛りつけられていた。(写真)健康を維持し、また来年も人間ドックを受けて、食道楽の人生を続けよう。今日も健康、食事がうまい!!



訃報 曾根原寿實さんが2月9日急逝されました。曾根原さんはおきな草の鉢植えや苗を毎年、大町病院へたくさん届けていただきました。またおきな草の種も配るなど、守る会の植栽活動にも積極的に参加していただきました。感謝を申し上げますとともにご冥福をお祈りします。合掌

会費の納入をお願いします・・・24年度分の会費の未納の方はお願いに上がります。なお都合のつかない方は、大町病院1階ロビーの受付カウンターにおいて医事課、麻田係長に預けていただいても結構です。新規会員も募集中です。加入者を紹介ください。

インターネットに会報が掲載されています。御覧ください。

守る会会報1号から21号までがインターネット上に掲載されています。「市立大町総合病院ホームページ」の右側下段の「病院を守る会」欄をクリック、または「市立大町総合病院を守る会」で検索してみてください。会報がカラー写真で掲載されています。この会報は大町市きらり輝く協働のまちづくり支援金制度の助成を受けて作成されています。